

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 053	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 食味特性も考慮した“はるみ”の追肥適期・施用量について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 当県の米等級比率が悪い格付理由は充実不足で、その技術対策として追肥施用が必要である。その一方で、追肥時期を遅くすると玄米のタンパク含量が多くなり食味が低下することがわかっている。 “はるみ”の場合は、生態的特性を考慮して出穂15日前とキヌヒカリより遅い時期を追肥の基準としているが、食味特性からみた追肥適期・施用量が判明していない。 そこで、両特性を考慮した追肥期間と施用量の解明をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発			
対応の内容等 ‘はるみ’に適した施肥体系を確立するため、現在、穂肥に重点をおく「後期重点型の肥培管理」により収量性、玄米外観品質及び食味への影響について検討する試験に取り組んでいます。 また、JA全農でも当所と共同で施肥試験を行っていますので、相互に情報交換しながら‘はるみ’に適した施肥体系について検討していきます。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			